

鏡視下腎摘除術クリニカルパス

氏名

	入院日・手術前日	手術当日手術前	手術当日手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5～7日目
日付け	/	/	/	/	/	/	/	/
食事	腸に食物が残りやすい食事が出ます。病院食以外食べないでください。手術前日は21時以降飲食できません。 	手術日当日は飲食できません。 	診察後飲水が出来ます。 夕方からお粥と軟らかい食事が出来ます。 	診察後飲水が出来ます。 普通食が出ます。水分は1日1000mLを目安に飲んでください。  				
安静	制限はありません。 	ベッド上で安静になります。 	診察後は病棟内を歩くことができます。	制限はありません。 				
清潔	入浴ができます。 	手術後1日目より清潔ケアの案内をします。	創からの管が入っている間は身体を拭きます。創からの管が抜けた翌日からシャワー浴ができます。腹帯は 必要ありません 。 					
排泄	普段通りトイレにて排尿をお願いします。	尿管が入ります。排便時は床上にてポータブルトイレを使用します。	尿管が抜けたら排尿状況(尿量、尿性状(血液が混じるか)を確認します。)。初回歩行が可能であり、体調に問題なければトイレで 排泄 できます。					
検査	採血・検査 	手術後レントゲン 	採血・レントゲン  	採血 				採血(退院日前日) 
診察	医師が毎朝診察に伺います。 							
	日中と夕方検温します。 	手術後は3時間毎に検温します。手術後1日目の朝以降は起床時・午前中・夕方に検温します。 			午前中と夕方に検温します(退院日は朝のみです)。 			
処置	眠る前に下剤を飲みます。 	朝浣腸をします。医師が手術部位が分かるように印をつけます。	両足ふくらはぎに血栓予防器具がつけます。(翌日医師の診察を目安に外れます) 心電図モニター、酸素飽和度モニターを装着します。(手術当日術後～手術後1日目まで) 医師の指示により尿管を抜きます(手術後2日目までが目安です)。 術後創に管が入ります。創からの排液の量で管を抜きます(手術後3日目が目安です)。					
観察	尿の色と量を確認します。	下肢の動き・感覚が戻っているか、お腹の動きやおならや排便等の状態を確認します。 イキミ症状・尿管の固定具合を確認します。 創の管からの出血や浸出液を確認します。 創痛の確認をします。	創痛の確認をします(弱:0~10:強の痛みの範囲で教えてください)。 尿の色と量の確認をします(排尿時の状況を教えてください)。 創からの管や創の状態を観察をします。					
薬物	薬剤師が今まで飲んでいた薬の確認をします。 	手術当日朝から手術2日目まで点滴があります。手術後から手術1日目の朝まで腰からの痛み止めがあります。痛みがあるときは痛み止めを使用します。 	痛みがあるときは痛み止めを使用します。 					
指導・説明	『泌尿器の手術を受ける患者さまへ』を用いて入院や手術について説明します。 	『泌尿器の手術を受ける患者さまへ』を用いて術後に注意することなどの説明をします。			【退院時】 『退院療養計画書』をもとに退院後の生活について説明します。			
目標	・入院生活について理解できる ・手術前の準備、手術のスケジュール、手術後の注意点が分かる。	・安静が守ることが出来る。 ・痛みなどの症状が軽減できる。	・安静解除後、歩行ができる。 ・尿の管を抜いた後、排尿がある。 ・食事開始後、食事が食べられる。 ・痛みなどの症状が軽減できる。	・痛みなどの症状が軽減できる。			【退院時】 ・退院後の生活について理解できる。	